

●クリチバ市邦人旅行者の車上ねらい被害

事件概要

発生日時：平成23年9月9日(金) 20:23頃

発生場所：クリチバ市ボンヘチロ地区スーパーマーケット「CONDOR」屋内駐車場

犯行主体：車上ねらい

被害品：旅券、金銭(8千円、2百米ドル及び120レアル)及びデジカメ等

事件概要：9日、邦人旅行者は、当地スーパーマーケットで買い物を実施。貴重品が入った手提げ鞆が重いため、屋内駐車場に駐車後、車輛の後部トランクを開け、手提げ鞆を保管の上、施錠した。盗難に気付いたのは帰宅後であった。

●サンパウロ州邦人旅行者に対する窃盗事件

発生日時：9月7日(水) 11時頃

発生場所：Estacao Liberdade

被害品：旅券、現金(400米ドル及び1万円)、デジタルカメラ

犯行主体：スリ

事件概要：地下鉄リベルダージ駅で電車の切符を買おうとしていたら、男に「服が汚れているから拭いてあげる」と声をかけられ、友人と服を確認したらべったりとチョコレートがズボンにつけられていた。その際、よくある窃盗手口であったことから、鞆をしっかりと抱え、友人と声をかけてきた男と共にズボンの汚れを落とした。男は自然とその場を離れていったが、念のため鞆の中を確認したところ、貴重品袋がなくなっているのに気づいた。

防犯対策：

- (1) 常に警戒心を持ち、周囲に視線を配るなど警戒心を顕示する。
- (2) 現金や銀行カード、旅券など貴重品は分散して所持する。
- (3) 人混みを歩く際には、特に周囲に注意を払い、貴重品を手で押さえる等の措置をとる。

●サンタカタリーナ州治安情報(学校に投げ込まれた爆弾)

5日付ジャリオ・カタリネンセ紙はサンタ・カタリーナ州北海岸沿いのカンボリウ市に所在する中・高等学校が襲撃された旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

5日朝、サンタ・カタリーナ州北海岸沿いのカンボリウ市モンテ・アレグレ地区州立プロフェソラ・マリア・テレジーニャ・ガルシア中・高等学校の校内に自家製の爆弾が投げ込まれる事件が発生。教師及び生徒達は学校のグラウンドに爆弾が投げ込まれた時に大きな音を聞いたと話しており、火薬が爆発するとビリヤード玉が飛び散る仕組みの爆弾が投げ込まれたと推測されている。爆発後、玉は塀を越え、窓ガラスを割り生徒(16歳)に命中し負傷したものの、幸い命に別状は無かった。警察は犯人を捜査中である。

●渡航情報（サンタカタリーナ州の豪雨）

（件名）ブラジル：サンタカタリーナ州の豪雨による被害発生に伴う注意喚起

（内容）

1. 9月15日、ブラジルのサンタカタリーナ州市民防衛局は、9月6日より連続した集中豪雨による被害を受け、同州内の59都市に対して緊急事態宣言を、11都市に対して公災宣言を発出しました。なお、被害の概要は以下のとおりです。

（1）死者数：3名（グアビルバ市、イタジャイ市及びラウレンチノ市）

（2）浸水、土砂崩れ等による被害者数：981, 205名

（3）被害都市数：100市

（4）緊急事態宣言：59市

ブルメナウ、マフラ、ナヴェガンテス、イタジャイ、カサドール、フロリアノポリス他53都市

（5）公災宣言：11市

アグロノミカ、ブルスケ、リオドスル、イトゥポランガ、アウロラ、プレジデンテジエトゥリオ、ラウレンチノ、ロントラス、タイオ、リオドオエステ、トロンブドセントラル

（6）避難者数：178, 392名

2. サンタカタリーナ州を含むブラジル南部は、通常2月頃まで雨季が続き、今後も集中豪雨が続いた場合、新たな道路の寸断等ライフライン等への被害が拡大したり、土砂災害等が発生する可能性があります。また、大規模な自然災害発生後は、衛生状態の悪化により、避難所等を中心に下痢などの感染症が流行する可能性もあります。

3. つきましては、サンタカタリーナ州イタジャイ渓谷地域等、水害被害が深刻な地域への不要不急の渡航は避けることをお勧めします。万一、渡航される場合又は既に滞在中の場合は、サンタカタリーナ州市民防衛局

(<http://www.defesacivil.sc.gov.br>)、各交通機関、旅行会社、テレビ、ラジオ及び新聞等で最新情報を入手して、土砂災害等の二次災害に巻き込まれないよう十分注意するとともに、感染症の予防に努めてください。

4. ブラジルには別途、渡航情報（危険情報）が発出されていますので、そちらにも留意してください